



全日本アマチュア無線連盟



土浦アマチュア無線クラブニュース 平成 24 年 3 月号

お 知 ら せ

JH1WGP 大木 武

★ 土浦アマチュア無線クラブ総会、レピータ管理団体総会

下記日程にてクラブ総会を開催します。出来るだけ多くの皆さんが出席出来るようお願いいたします。

日時： 3月18日（日） 時間： 13:00～

場所： 四中地区公民館

昨年までの二中地区公民館から変更になりました。お間違いの無い様にしてください。

クラブ総会終了後土浦レピータ管理団体の総会を開催します。

出欠について

同封の葉書に出席、欠席のいずれかに丸をつけてください。また欠席の場合には委任状の部分にもご記入の上、総会前日までに届くよう、葉書を出してください。(会報をメールでお送りしている方には往復葉書でお送りします)

★ 会費納入について

平成24年度の会費の納入期限は4月末となっております。総会会場、役員経由、もしくは次の口座に振り込みください。

土浦アマチュア無線クラブ（年会費 3,000円）

水戸信用金庫土浦支店 普通 1000174

土浦アマチュア無線クラブ 代表者： 矢口 蕃（ヤグチ シゲル）

JR1VG レピータ（年会費 1,000円）

ゆうちょ銀行（振替にて送金）

口座記号番号：0320-2-35649 加入者名：JR1VG 管理団体

（料金無料の振替用紙をお送りします）

いずれの場合にもコールサインをお書き願います。

土浦市を紹介するフレーム切手、販売中

JR1CCP 長塚 清

土浦市のイメージキャラクター「つちまる」及び市の観光名所等を紹介するフレーム切手が郵便局にて販売中です。

土浦市内の郵便局（簡易郵便局を除く23箇所）で購入することができます。

販売開始日：平成24年2月3日金曜日

販売場所：土浦市内の郵便局

（簡易郵便局を除く23箇所）

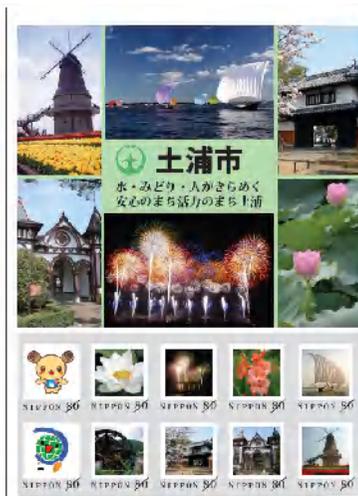
販売単価：1シート 1,200円

（1シートは80円切手10枚）

ホームページで案内しています。

<http://www.city.tsuchiura.lg.jp/news.php?code=2240>

ちょっと高い！



新春ボーリング大会終わる

JA1PBV 伊藤 寧夫

去る2月5日(日)、本年度の西遊事業である新春ボーリング大会が行われました。幸いなことに厳寒の状態から脱したと思われる好天に恵まれ、32名の選手によって優勝トロフィーを手にすべく熱の入ったプレーが続きました。(2ゲームトータル勝負)

優勝はJE1ONG 坂本さん(349ピン)、第二位は7K4IJJ 鎌田さん(323ピン)、第三位はJO1LEA 松澤さん(313ピン)と言う結果に終わりました。

賞品については従前どおり、順位に従ってくじ引きで行われました。くじをあけた表情は悲喜交々であり、全員に行き渡りました。

なお、JA1ITJ 萩谷さんからは非常用のライト電池常備キット(時下1万円相当)、JF1KZD 池田さんからはご自身で生産された人参一箱を頂きました。何時もながら感謝、感謝です。

参加各局(優勝から順位順、敬称略)

JE1ONG、7K4IJJ、JO1LEA、JG1HJV、JG1NUV、JE1RLK、JI1WLL、JG1WMN、JA1IOA、JF1MFE、JR1CCP、JN1XDH(JA1LIS 2nd)、JE1OON、JO1FYS、JE1LUH、JG1VPI、JE1LUH-XYL、JA1ITJ、JL1SUJ、鎌田ゆくみ(7K4IJJ-XYL)、飯田亨(JA1LIS 2nd)、JG1TPW、JR1RMS(JR1CCP 友人)、JN1VVE、JK1OIV(JI1WLL-XYL)、JA1PBV、JA1LIS、JF1TCS、久松のぞみ(JF1MFE 孫娘)、JG1FOM(JG1HJV 2nd)、松本拓郎(JG1VPI 2nd)、JE1RLK-XYL

くじ引きによる景品贈呈(敬称略)

ライト電池常備キット(JK1OIV)、人参1箱(JG1WMN)、コーヒーマーカー(JI1WLL)、ダイナモラジオ(JA1PBV)、ミニファンヒーター(JE1RLK)、電気ケトル(JF1MFE、JE1OON)、プッシュライト(JR1RMS、鎌田ゆくみ)、ヘルスマーター(松本拓郎)、シェーバー(JL1SUJ)、キティ肘掛け(JA1IOA)、24時間タイマー(JE1ONG)、人感型ナイトライト(JF1TCS)、毛玉とり機(7K4IJJ)、ハンディ粘着クリーナー(参加賞)は他の皆さん全員に行き渡りました。

参加された各局、そしてご家族や友人の方々、ご苦労様でした。



優勝のJE1ONG 坂本さん(中央)、第二位の7K4IJJ 鎌田さん(右)、第三位の松澤さん(左)

アメリカ西海岸めぐり 8 日間 その 3 (最終回)

JH1WGP 大木 武

モニュメントバレーを去り長い長い道を走り、とつぷりと日が暮れた頃ページという名の町で宿泊。翌朝近くのアンテロープキャニオンツアー事務所からトラックに分譲し砂漠の鍾乳洞のようなアンテロープキャニオンに向かう。ここもナバホ族の管理下に置かれているがひとつも面白くないところだった。ただナバホ族のお姉さんたちになぜか親しみが感ぜられた。帰国後ネットでみたら日本人と同じ DNA を持ったところがあることがわかり納得。このページの町はコロラド川に巨大なダムを建



設する為にやってきた人達が住みついた町で、ここから見るダムは砂漠のオアシスカ、この景色は映画“猿の惑星”で撮影されたという。ダム湖が満水になるまで 17 年経過したことでその大きさがわかる。

そしていよいよネバダ州ラスベガスに入る。その派手さはだれでも納得する町、ギャンブルの町、観光客が世界からやってくる、泥棒さんもやってくるという。とにかくホテルが大きく 2,000 室は普通で自分の部屋への道順を



しっかり覚えないと大変なことになる。我々の宿泊ホテルもそうだがラスベガスのホテルは何処のホテルも一階はカジノになっているという。ツアーコースに入っている



ナイトツアーは夕食後の 9 時ごろから始まりフリーモント・エクスぺリエンスショーや噴水ショーなど迫力あるショーをみた。噴水ショーはベラージオホテルの庭の湖で 1000 機ものハイテク噴射装置からコンピューター制御により音楽に合わせた噴水が演じられます。素晴らしいです。我々のホテルは“パリラスベガス”このエッフィ爾塔の展望台からの夜景も素晴らしいかった。終了は 12 時近く、

明日も早く起きねばならぬ為、誰もカジノを楽しむ人はいなかった。

早朝ホテルを7時出発、ラスベガス空港からロサンゼルス空港へ向かうが、出発が予定より約1時間遅れた。遅れた理由は何とオバマ大統領がロサンゼルス空港を出発するためその空港が完全閉鎖された為と聞いてビックリ。

旅の終わりはロサンゼルス市内観光・誰でも知っているものばかりだが、ロサンゼルスと言えばハリウッド、サンタモニカ、ビバリーヒルズ、ロングビーチ、そして



ニューヨークに次ぐ全米第二の都市です。

ルート66の終点サンタモニカビーチ散策から始まり、散策中、物乞いの女性が現れました。中にはすごい美人もいるとか？良きも悪きもアメリカか！

ビバリーヒルズ散策では、ハロウィンが近づいている為か幽霊、魔女など仮装が玄関や庭に飾ってあり静かな住宅街でした。治安もいいらしい。

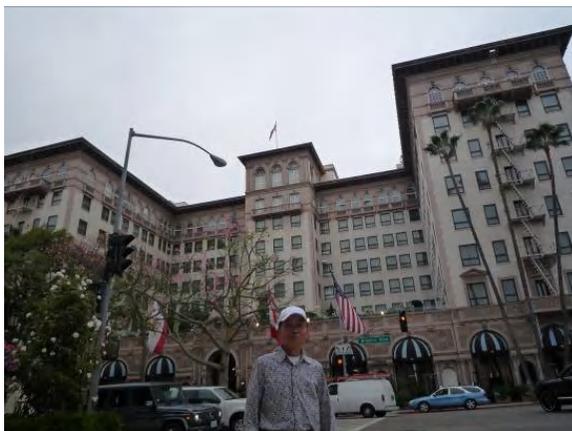
そしてチャイニーズ・シアターの前では、ずらりと並んだスターの足形、手形をどの観光客も自分のお目当てのスターの足形、手形を探して写真をとるのに必死でした。その一つマリリンモンローの手形、足形を載せてみました。



最後は昨日オバマ大統領が宿泊したというホテル前でパチリ。

ロサンゼルス空港から成田は約12時間の旅、幸いかな隣の席には、日本を尊敬しているというロビンソン君と仲良くなり退屈しませんでした。彼の国はコスタリカ、そこから電波出せるかなと一瞬思いましたね。

終わりにひとつの話、××ホテルで部屋に入る為のカードを差し込んだ処、開きました。中には荷持つがいくつか置いてあったのでおかしいなと思いもう一度入りなおしたがおかしい？やっとな自分の部屋NOは、××9ではなく××8だと気づきました。もちろん本来の部屋番号なので開くのは当然ですが、このホテルは8でも9の部屋が開くことが判り大変なことがある。9の部屋に人がいたらどうだったか、日本人なら何とか説明がつくが外人だったらと思うと今でもぞっとします。おわり



BCLラジオ ナショナルクーガ 2200 を入手しました

JR1CCP 長塚 清

■中学校以来の無線をやっている友人からラジオをもらいました。なんと！

昭和 50 年代の BCL ブームの末期を飾ったナショナルのクーガ 2200 だ。アナログ BCL ラジオ(受信機)としては完成度が高く、ソニーのスカイセンサー、東芝のプロシードなどとその性能を競っていた機種です。ロッドアンテナが折れていたり、ビスのサビなどが散見されました。MW. SW. FM の 3 バンド。短波(SW)は 6 バンドに分かれ、4MHz~30MHz、が 4MHz 毎に 6 バンドに分かれていて、BFO も付いているので SSB も聴ける。



■早速電源を入れる。 寄る年波には逆らえずボリュームにはガリがありますが、何とか受信可能。MW 中波、FM は大丈夫。最大の関心事の短波は?? ロッドアンテナが折れているので、7-WARC のアンテナをミノムシクリップでつなぐ。

短波帯のバンド切替スイッチの接触不良 のため、微妙なタッチが必要。 ザーッとかがりガリ言うとは OK だ。大陸の放送がガンガン入る。7MHz 付近でモガモガ音がきこえる、BCL に夢中だったラジオ少年がアマチュア無線の交信を聴き、傾注して行くきっ



かけはこんな感じだったのではないかと、思いを巡らせてしまいました。 BFO を入れると何とか復調できる。局発が不安定なので、SSB や CW の復調はちょっとつらい。125KHz と 500KHz のマーカー内蔵なので要所要所でキャリブレをとると 5KHz 程の精度で周波数直読だ。20 年以上前の機器とは思えないくらいだ。

今度は、中波のラジオ放送だ。とても良く聞こえる。23 時を過ぎた頃からは BCL タイムだ。ジャイロアンテナを回すとすーっと、遠くの放送が浮かび上がる。北海道(HBC/STV)、山形放送、神戸、広島放送などが受信できた。目指すはラジオ受信 AJD

かな。グラス片手に・・・こんな感じで深夜に一人楽しんでます。超オタク的だなあ~と思えますが、皆さんも“経験有り”ではないでしょうか。さて、夜な夜な遠距離受信ををしていると在京局・近距離局や大出力局の混信に悩まされるのは、無線の世界も同じ。しかし、AM 放送なのでビートが発生し聞きにくさは増加します。インターネットで検索すると、遠距離受信マニアの多くはループアンテナを使っているようです。ピコシリーズでおなじみの MIzuhu の製品やキットが愛好されているようです。主な部品はバリコンとビニール線です、持ちの材料で作ってみました。



ループとバリコンで放送の周波数に同調させ、リンクコイルでラジオのアンテナ端子かバーアンテナに結合させます。まあ~プリセクタですね。

ループの面の方向に指向性がありますから、目的局に向けるか目的外局を指向性外にする事で混信を少しでも少なくする事が可能です。内蔵のバーアンテナ に比べて、とても聞き易くなり効果有ります。なにより、受信している！という格好がいいです。のんびりラジオを聞いてみませんか。自作もしてみたいものです。



アマチュア無線を語る会 (DXer 中心)

JA1PBV 伊藤 寧夫

去る2月2日、JA1PBVの西アフリカ運用とJH1WGP大木さんのパラオ運用計画をネタに会が催されました。場所は恒例の土浦駅近の「鳥平」で午後6時半開始となりました。急遽、参加されたJG1TPW野尻さんは勤務地の秋葉原から少し遅れての参加となり、総勢9名で開催となりました。

時に、大型のペデションが沢山ある中の夕刻、パイルアップに参戦せずにDX談義で大いに盛り上がりました。そう、「鳥平」パイアアップといったほうが良かったかもしれません。なお、JH1WGP大木さんは、2月9日から15日まで、T88WGのコールサインでパラオから運用されました。



JA1PBVの西アフリカ運用のQSL Card

無線機 売ります

JI1WLL 小澤 靖

HF機: FT-1000MP M-V 出力200W

10万円

HF-144MHz機: IC-7400 100W 144MHz-EMS仕様

6万円

最新の Hamlog (Ver. 5.19c) について

JI1WLL 小澤 靖

2月21日付けに発表になったST0を追加する方法についてお知らせします。既に858AにST0を追加してある方も変更してください。

1. オプション → データーの保守 → マスターデーの編集に入る 2. コードを入力してくださいの項目 → **858A** と入力 3. 該当データーが有りません。追加しますか → はい → マスターデーターの追加訂正削除 4. QTHに **South Sudan** と入力 5. FLAGに **3Z8** と入力 6. 保存(S)を押す 6. マスターデーター編集で **858_** (Shift+ろのキーです) 8. QTHを入力し FLAG欄に **3ST0** と入力 9. 保存しマスターデーター編集を終了
これで DXCCにも反映されます。

4月1日誕生の熊本市特別区はこのハムログバージョンに登録されています。

操作不明の方はレピータで私を呼び出してください。家にいる限りはワッチしております。

同期放送（同一周波数放送）

JR1CCP 長塚 清

中波ラジオ放送局の周波数一覧を見ていると、同じ放送局の中継局がこれまた同じ周波数で放送しています。身近なところでは、茨城放送には土浦局と筑西中継局がありますが、周波数は1458kHzと同じです。中間のつくば市あたりで聞くとビートになってしまうのではないかと思います。茨城放送に限らず全国にはたくさんの同一周波数の中継局があります。

たとえば、静岡放送（SBS）は静岡市の本局の他に9箇所の中継所があり、全て1404kHzです。熊本放送（RKK）も同様に10局全て同じ周波数です。いったい、どうなっているのでしょうか？

インターネットで検索してみると、“同期放送”と言って完全同期放送と精密同期放送の2つがあるようです。多くの中継局は精密同期放送だそうで、搬送波の周波数偏差が0.1Hz以内に規定されています。同一周波数にすると、カーラジオで移動しながら聞いていてもダイヤルを回す必要が無く聞き続けることが出来る、周波数の有効活用などのメリットがあるそうですが、50MHz AMで経験のあるように、“Pi--！”というビート音を想像します。同じ放送局同士でビートが出てはまずいのでは？と思い、もっと調べてみました。

数箇所から同一周波数で送信するとどこかの場所に各局からの受信電界が同じになる所が発生します。同じ出力・同じ空中線で周囲を完全に平地とすれば両局の中間地点がそうなると思います。実際には出力が異なったり、地形なども異なるのでかなり不規則に存在します。それでもどこかに同じ電界の場所が存在することになります。ここで重要なのが、各局の周波数の偏差が0.1Hz以内という点です。この場所では両局の搬送波周波数の差のビートが生じ、その差（0.1Hzであれば10秒）の時間間隔でフェージングが起こります。これの解決方法にはAGC特性の改善、同期検波など高度な方法もありますが、ラジオの向きを変えたり（バーアンテナを回す）してどちらかの局を聞く事で解決できます。茨城方法の土浦（JOYL 1458kHz1kW）と県西中継局（コールなし1458kHz1kW）の間を走って聞いてみようかと思います。ということで・・・知らず知らずのうちに、頂いたラジオからだんだん深みに嵌ってしまいました。関心のあるかたは、“同期放送”などで検索するといろいろヒットしますので。覗いてみてください。

代表的な同一周波数放送

放送局名	送信所	KHz	出力 W	CALL	放送局名	送信所	KHz	出力 W	CALL
熊本放送 (RKK)	熊本	S 1197	10k	JOBF	静岡放送 (SBS)	静岡	1404	10k	JOVR
	人吉	1197	1k			浜松	1404	1k	
	御所浦	1197	1k			御殿場	1404	100	
	阿蘇	1197	1k			天竜	1404	100	
	小国	1197	100			龍山	1404	100	
	荒尾	1197	100			佐久間	1404	100	
	南阿蘇	1197	100			春野	1404	100	
	蘇陽南	1197	100			水窪	1404	100	
	蘇陽北	1197	100			掛川	1404	100	
	河浦	1197	100		三島	1404	100		
					茨城放送 (IBS)	土浦	1458	1k	JOYL
						関城	1458	1k	

皆さん、記事をお待ちしています。近況で結構ですので、連絡してください。

平成 23 年度 第 12 号	通巻 436 号	JARL 登録番号 14-1-0018
発行日：平成 24 年 3 月 1 日	発行者：土浦アマチュア無線クラブ 事務局	
オンエア ミーティング：毎週月曜日 PM9：00～ JR1VG レピータ（439.70MHz）		